



# ふるさと黒木

八女市立黒木小学校

文責 校長

令和8年2月6日

【重点目標】「自分の考えを伝え合う子どもの育成」

## 優しさがつなぐ輪



1月30日(金)上<sup>じょうがくねん</sup>学年、2月3日(水)下<sup>かがくねん</sup>学年の学習参観、学級懇談会へ参加ありがとうございました。次年度の学級委員さんも決まりました。本年度の学級委員のみなさま1年間ありがとうございました。12日(木)には新旧合同委員会も開催され、今年度の活動を振り返り、次年度に向けての組織作り、計画が立てられます。次年度のスタートがスムーズに切れるようよろしくお願いします。

さて、今日の放送で紹介しましたが、お隣の輝翔館の校長先生から心温まるお電話をいただきました。お話によると、道に落ちていた輝翔館の生徒の体操服袋を見つけた黒木小の子どもが、「すぐ近くに落ちていたので、置いておきます」という一筆を添えて、わかるところに置いてくれたのだそうです。その丁寧な置手紙のおかげで、体操服は無事に持ち主のもとに戻り、輝翔館の先生方や生徒さんは、その子の優しさで大変感激されたとのことでした。相手を思い、自分にできる最善を考えて行動できたことに私もうれしい気持ちでいっぱいになりました。

少し前には、横断歩道で止まってくれた車に対し、渡り終えた後に深々とお辞儀をし、感謝を伝えた姿も紹介されました。これらは自分で考え、自然に出た善意の形です。こうした「優しさの輪」が学校だけでなく地域の中にも広がっていることを実感しています。

黒木小学校の子どもたちが、これからも優しく、素直な心をもって成長していけるよう、学校と家庭と地域で温かく見守っていければ幸いです。

## 「ひまわりの花運動」が繋ぐエピソード part 2

以前「ひまわりの花運動」で飛ばした風船が届いた熊本県玉名市の方からの心温まるお手紙の紹介をしました。今回また玉名の方のもとに届きましたとお手紙をいただきました。

こんにちは。私たちは、90代と80代の老夫婦です。先日、近くにある所有しているみかん山に行ったら、花の種が入っている袋が枯草の中に落ちていました。これまでの風雨でも袋が痛んでいなかったのに読むことができませんでした。八女の小学生からこんな遠くまで飛んできたのに驚きました。3年生のみなさんが「誰かに届きますように」と思って心を込めて人権の花の種を飛ばされたのだと思うと心が温まる気持ちになりました。みなさんが大切に育てたひまわりの花から取れた種は庭にまいて、きれいなひまわりの花を咲かせられるように大切に育てますね。これからも自分やお友達を大切にして、相手を思いやる気持ちをもって、みんなと仲良く楽しく過ごしてくださいね。素敵な心のこもったひまわりの種を届けてくれてありがとうございました。